

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the U.S. Postal Service with sufficient postage as First Class Mail, in an envelope addressed to: Commissioner for Patents, Washington, DC 20231, on the date shown below.

Dated: March 28, 2002 Signature:

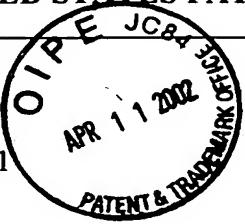

(Robert B. Cohen)

Docket No.: SCEIYA 3.0-109
(PATENT) #4

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:
Toru Morita

Application No.: 10/027,561



Group Art Unit: 2152

Filed: December 20, 2001

Examiner: Not Yet Assigned

For: SYSTEM AND METHOD FOR PROVIDING
CONTENT, AND RELAY APPARATUS

CLAIM FOR PRIORITY AND SUBMISSION OF DOCUMENTS

Commissioner for Patents
Washington, DC 20231

Dear Sir:

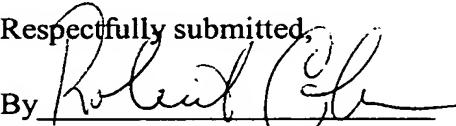
Applicant hereby claims priority under 35 U.S.C. 119 based on the following prior foreign applications filed in the following foreign countries on the dates indicated:

Country	Application No.	Date
Japan	JP2000-388810	12/21/00
Japan	JP2001-388337	12/20/01

In support of this claim, certified copies of the original foreign applications are filed herewith.

Dated: March 28, 2002

Respectfully submitted,

By 
Robert B. Cohen

Registration No.: 32,768
LERNER, DAVID, LITTBENBERG,
KRUMHOLZ & MENTLIK, LLP
600 South Avenue West
Westfield, New Jersey 07090
(908) 654-5000
Attorneys for Applicant

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

①

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office



出願年月日
Date of Application: 2000年12月21日

出願番号
Application Number: 特願2000-388810

[ST.10/C]: [JP2000-388810]

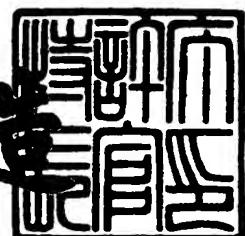
出願人
Applicant(s): 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2002年 1月18日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕三



【書類名】 特許願
【整理番号】 SCEI00083
【提出日】 平成12年12月21日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G06F 17/60
【発明者】
【住所又は居所】 東京都港区赤坂7丁目1番1号 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント内
【氏名】 守田 徹
【特許出願人】
【識別番号】 395015319
【氏名又は名称】 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント
【代理人】
【識別番号】 100079083
【弁理士】
【氏名又は名称】 木下 實三
【電話番号】 03(3393)7800
【選任した代理人】
【識別番号】 100094075
【弁理士】
【氏名又は名称】 中山 寛二
【電話番号】 03(3393)7800
【選任した代理人】
【識別番号】 100106390
【弁理士】
【氏名又は名称】 石崎 剛
【電話番号】 03(3393)7800
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 021924

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンテンツ提供システムおよびその中継装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】携帯型電話機のダイアルアップにより、当該携帯型電話機と他の電話機との通信回線を接続する加入電話通信網を含んだ通信手段を介して、情報端末装置にデジタル信号からなるコンテンツを提供するコンテンツ提供装置を備えたコンテンツ提供システムにおいて、

前記加入電話通信網により情報端末機能を有する多機能携帯型電話機と接続可能とされるとともに、多機能携帯型電話機から通知された電話番号を当該多機能携帯型電話機独自のIDコードに変換する機能を有する中継装置が設けられ、多機能携帯型電話機と前記コンテンツ提供装置との通信が前記中継装置を介して行われるものとなっていることを特徴とするコンテンツ提供システム。

【請求項2】請求項1に記載のコンテンツ提供システムにおいて、前記多機能携帯型電話機には、当該多機能携帯型電話機よりも大型のディスプレイを備えた情報端末装置が接続可能となっており、前記通信手段には、インターネットが含まれていることを特徴とするコンテンツ提供システム。

【請求項3】請求項2に記載のコンテンツ提供システムにおいて、前記中継装置は、前記加入電話通信網と前記インターネットとを相互に接続するために、前記加入者電話網側に設けられたゲートウェイであることを特徴とするコンテンツ提供システム。

【請求項4】請求項2に記載のコンテンツ提供システムにおいて、前記中継装置は、前記インターネットのプロバイダが有するDNSサーバであり、かつ、前記加入電話通信網により前記多機能携帯型電話機と接続可能となっていることを特徴とするコンテンツ提供システム。

【請求項5】請求項2ないし請求項4のいずれかに記載のコンテンツ提供システムにおいて、前記コンテンツ提供装置は、ビデオゲーム用のプログラムおよび／またはデータを提供するインターネットサーバであることを特徴とするコンテンツ提供システム。

【請求項6】請求項5に記載のコンテンツ提供システムにおいて、前記多機

能携帯型電話機に接続可能となった前記情報端末装置は、ディスプレイに表示された画像を見ながら操作されるビデオゲーム機であることを特徴とするコンテンツ提供システム。

【請求項7】携帯型電話機のダイアルアップにより、当該携帯型電話機と他の電話機との通信回線を接続する加入電話通信網を含んだ通信手段を介して、情報端末装置にデジタル信号からなるコンテンツを提供するコンテンツ提供装置を備えたコンテンツ提供システムに設けられる中継装置であって、

前記加入電話通信網により情報端末機能を有する多機能携帯型電話機と接続可能とされるとともに、多機能携帯型電話機から通知された電話番号を当該多機能携帯型電話機独自のIDコードに変換する機能を有し、多機能携帯型電話機と前記コンテンツ提供装置との通信を中継するものであることを特徴とするコンテンツ提供システムの中継装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ビデオゲーム等の娯楽用コンテンツを提供するのに好適なコンテンツ提供システムおよびその中継装置に関する。

【0002】

【背景技術】

近年、パーソナルコンピュータの普及とともに、インターネットが盛んに利用されている。インターネットは、全世界を結んだネットワークであり、誰もが容易に世界中の情報を収集することができるネットワークとなっている。

このようなインターネットには、各種のコンテンツを提供するWebサイトが接続されているので、インターネットを利用すれば、単なる情報だけでなく、音楽コンテンツや、ビデオゲーム用のソフトウェア等、様々な娯楽用コンテンツを外出することなく速やかに入手することができる。

また、インターネットのゲームは、ID番号やパスワードでプレーヤが特定できれば、情報端末装置が特定されず、自宅のパーソナルコンピュータだけでなく、外出先のパーソナルコンピュータでも同じゲームを楽しむことができるうえ、

ゲームを途中で中止しても、それまでの経過を、ゲームコンテンツを提供したWebサイトにセーブすることができるので、自宅で開始したゲームを中断して外出しても、外出先のパソコン等で中断したゲームを終了させることもできる。

【0003】

一方、PHSや移動電話等の携帯型電話機が広く普及し、多くの人々が携帯型電話機による通信を利用している。

携帯型電話機としては、インターネットへのアクセスが可能な情報端末としての機能を有する多機能携帯型電話機、例えば、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ（旧「NTT移動通信網株式会社」）の「iモード」型携帯型電話機等が出現している。

この多機能携帯型電話機には、インターネット上の標準的なアプリケーションである、WebブラウザおよびEメール用のソフトウェアがインストールされているので、多機能携帯型電話機によれば、インターネットの多数のWebサイトに設定されたホームページ等を閲覧でき、しかも、ゲーム用コンテンツを提供するサイトと接続し、当該サイトからゲーム用コンテンツをダウンロードすれば、多機能携帯型電話機でビデオゲームを行え、どこででもビデオゲームを楽しむことができる。

【0004】

ここで、多機能携帯型電話機をインターネットにアクセスさせるために、携帯型電話の通信サービスを行う携帯型電話会社は、携帯型電話機の通信網とインターネットとを相互に接続する中継装置としてのゲートウェイを所有しており、多機能携帯型電話機は、ゲートウェイを経由してインターネットの各サイトにアクセスするようになっている。

そして、このゲートウェイを経由することから、多機能携帯型電話機が有料サイトにアクセスした際、有料サイトから多機能携帯型電話機に有料コンテンツのダウンロードが行われたことが認識できるとともに、電話番号により、その多機能携帯型電話機を特定することができるので、多機能携帯型電話機によりID番号やパスワードを入力しなくとも、携帯型電話会社は、有料コンテンツの代金を

多機能携帯型電話機の所有者に請求することができる。

一方、多機能携帯型電話機にパーソナルコンピュータ等の情報端末装置を接続すれば、携帯電話通信網を経由して情報端末装置でインターネットの各サイトにアクセスできるので、携帯型電話機と携帯型コンピュータとを組み合わせれば、どこででも、多機能携帯型電話機と同様に、インターネットから必要な情報を得ることができる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、多機能携帯型電話機に接続した情報端末装置でインターネットをアクセスする場合、多機能携帯型電話機は、単なるインターフェイスであり、情報端末装置と各サイトとの間の通信内容についてな何ら関与しない。

また、多機能携帯型電話機が直接インターネットにアクセスしていない場合、携帯型電話会社は、プライバシー保護の観点から、多機能携帯型電話機の通信内容を把握することはできないうえ、情報端末装置と各サイトとの間の通信が、そのゲートウェイを経由しないので、技術的にも、多機能携帯型電話機の通信内容を把握することは困難である。

このため、多機能携帯型電話機に接続された情報端末装置で有料サイトをアクセスした際には、ID番号やパスワードを入力し、代金の請求先を明確にする必要があり、多機能携帯型電話機を使用しているのにもかかわらず、多機能携帯型電話機でインターネットをアクセスする場合よりも、入力操作が煩雑となるという問題がある。

【0006】

本発明の目的は、多機能携帯型電話機に接続された情報端末装置でも、多機能携帯型電話機単体と同様の操作で、コンテンツの提供を受けることが可能となるコンテンツ提供システムおよびその中継装置を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明の第1発明は、携帯型電話機のダイアルアップにより、当該携帯型電話機と他の電話機との通信回線を接続する加入電話通信網を含んだ通信手段を介し

て、情報端末装置にデジタル信号からなるコンテンツを提供するコンテンツ提供装置を備えたコンテンツ提供システムであって、前記加入電話通信網により情報端末機能を有する多機能携帯型電話機と接続可能とされるとともに、多機能携帯型電話機から通知された電話番号を当該多機能携帯型電話機独自のIDコードに変換する機能を有する中継装置が設けられ、多機能携帯型電話機と前記コンテンツ提供装置との通信が前記中継装置を介して行われるものであることを特徴とする。

ここで、情報端末機能を有する多機能携帯型電話機としては、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの「i モード」対応の携帯型電話機、KDDI の「ezweb」対応の携帯型電話機、および、J-Phone の「Jースカイ」対応の携帯型電話機等が採用できる。

【0008】

このような本第1発明では、所定のデジタル通信ネットワークに接続されたコンテンツ提供装置に対し、多機能携帯型電話機に接続された情報端末装置でアクセスする場合でも、コンテンツ提供装置は、中継装置が変換したIDコードにより、情報端末装置に接続された多機能携帯型電話機を特定することができるので、アクセスの際に、ID番号やパスワードを入力する必要がなくなり、多機能携帯型電話機単体でアクセスする場合と同様の操作で、コンテンツの提供を受けることが可能となるうえ、多機能携帯型電話機の電話番号等がコンテンツ提供装置に送信されることはなく、多機能携帯型電話機の所有者のプライバシーが保護されるようになる。

【0009】

以上のようなコンテンツ提供システムにおいて、前記多機能携帯型電話機には、当該多機能携帯型電話機よりも大型のディスプレイを備えた情報端末装置が接続可能となっており、前記通信手段には、インターネットが含まれていることが好ましい。

このようにすれば、情報端末装置の大型ディスプレイでインターネットの各サイトが用意している情報を閲覧できるうえ、コンテンツ提供装置が提供するコンテンツがビデオゲームの場合には、多機能携帯型電話機よりも大きな画面でゲー

ムを行うことができ、ゲームを行うプレイヤーにより大きな満足感を与えることが可能となる。

【0010】

また、上述のコンテンツ提供システムにおいて、前記中継装置は、前記加入電話通信網と前記インターネットとを相互に接続するために、前記加入者電話網側に設けられたゲートウェイ、あるいは、前記インターネットの前記インターネットのプロバイダに所有され、かつ、前記加入電話通信網により前記多機能携帯型電話機と接続可能となっているDNS (Domain Name System) サーバが採用できる。

上述のゲートウェイで電話番号をIDコードに変換すれば、有料コンテンツの提供を行った際の代金の請求は、携帯型電話の通信サービスを行う携帯型電話会社経由で行うことが可能となる。

一方、上述のDNSサーバで電話番号をIDコードに変換すれば、有料コンテンツの提供を行った際の代金の請求は、DNSサーバを所有するとともに、多機能携帯型電話機の所有者と契約しているプロバイダ経由で行うことが可能となり、支払先が一箇所にまとまるので、多数のコンテンツ提供装置からコンテンツの提供を受けても、ユーザーが代金を支払う際の煩雑さが軽減される。

これにより、インターネットを通じて、音楽コンテンツやゲームソフトウェア等の有料コンテンツを配信するコンテンツ配信業者から一般ユーザーが有料コンテンツを購入する取引がスムーズに行えるようになる。

【0011】

また、上述のコンテンツ提供システムにおいて、前記コンテンツ提供装置は、娯楽用のコンテンツとして、ビデオゲーム用のプログラムおよび／またはデータを提供するインターネットサーバであることが望ましい。

このようにすれば、自宅において多機能携帯型電話機に接続した情報端末装置でゲームを開始した後、ゲームを中断して外出しても、インターネットサーバには、それまでのゲームの経過がセーブされるうえ、前述の情報端末装置と、多機能携帯型電話機との同一性が確認できるので、多機能携帯型電話機でゲームの続きをどこででも行えるようになる。

【0012】

さらに、上述のコンテンツ提供システムにおいて、前記多機能携帯型電話機に接続可能となった前記情報端末装置は、ディスプレイに表示された画像を見ながら操作されるビデオゲーム機であることが好ましい。

このようにすれば、一般ユーザーは、販売店まで足を運ばなくとも、最新ゲームを行えるようになるうえ、当該ゲームを多機能携帯型電話機でも行えるようになり、しかも、ビデオゲーム機には、ブラウザ機能が確保されるので、インターネットを閲覧するにあたり、ビデオゲーム機および多機能携帯型電話機があればよく、パーソナルコンピュータ等の操作が分かり難い情報端末装置が不要となり、インターネットの利用がさらに容易となる。

【0013】

本発明の第2発明は、携帯型電話機のダイアルアップにより、当該携帯型電話機と他の電話機との通信回線を接続する加入電話通信網を含んだ通信手段を介して、情報端末装置にデジタル信号からなるコンテンツを提供するコンテンツ提供装置を備えたコンテンツ提供システムに設けられる中継装置であって、前記加入電話通信網により情報端末機能を有する多機能携帯型電話機と接続可能とされるとともに、多機能携帯型電話機から通知された電話番号を当該多機能携帯型電話機独自のIDコードに変換する機能を有し、多機能携帯型電話機と前記コンテンツ提供装置との通信を中継するものであることを特徴とする。

このような本第2発明では、前述したように、中継装置が電話番号をIDコードに変換するので、所定のデジタル通信ネットワークに接続されたコンテンツ提供装置に対し、多機能携帯型電話機に接続された情報端末装置でアクセスする場合でも、コンテンツ提供装置は、中継装置が変換したIDコードにより、情報端末装置に接続された多機能携帯型電話機を特定することができる。

このため、情報端末装置でアクセスする際にも、ID番号やパスワードを入力する必要がなくなり、多機能携帯型電話機単体でアクセスする場合と同様の操作で、コンテンツの提供を受けることが可能となるうえ、多機能携帯型電話機の電話番号等がコンテンツ提供装置に送信されることなく、多機能携帯型電話機の所有者のプライバシーが保護されるようになる。

【0014】

【発明の実施の形態】

以下、本発明に係る実施の一形態を図面に基づき説明する。

図1には、本実施形態に係るコンテンツ提供システム1が示されている。図1において、携帯型電話機2のダイアルアップにより、その携帯型電話機2と他の電話機との通信回線を接続する加入電話通信網10と、インターネット20とを含んだ通信手段3を介して、各種の情報端末装置にデジタル信号からなるコンテンツを提供するコンテンツ提供装置4を備えたものとなっている。

【0015】

加入電話通信網10は、携帯型電話機を含む移動通信機の通信をサービスする移動電話会社のものである。加入電話通信網10には、複数の無線基地局11および複数の移動体用交換機12が設けられている。これにより、当該加入電話通信網10に属する携帯型電話機等の移動通信機同士の通信が可能となっている。

また、移動体用交換機12は、インターネット20だけでなく、通常の有線電話の通信をサービスする一般加入電話通信網、他の移動通信体の通信をサービスする移動電話通信網、および、コンピュータ等のデジタル通信をサービスするISDN等、他の通信ネットワークにも接続されている。これにより、携帯型電話機2を利用すれば、通常の電話および他の携帯型電話会社の携帯型電話機との通話、ISDNに接続されたコンピュータ等の情報端末装置との通信が可能となっている。

ここで、携帯型電話機2は、情報端末機能を有する多機能携帯型電話機であり、インターネット20の各サイトにアクセス可能となっている。なお、携帯型電話機2としては、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの「iモード」対応の携帯型電話機等が採用できる。

【0016】

インターネット20は、複数のインターネット・サービス・プロバイダ（以下、「プロバイダ」という。）が所有するネットワーク・オペレーション・センター（以下、「NOC」という。）21～25の各々を、高速デジタル通信を行うための専用線で相互に接続したものである。

NOC21～25の各々は、図には示されていないが、情報端末装置等から送信されてくるURL等をIPアドレスに変換するDNSサーバ、および、情報端末装置等から送信されてくるEメールの受け渡しを行うためのメールサーバを備えたものとなっている。

このうち、NOC23には、前述のコンテンツ提供装置4が接続されている。このコンテンツ提供装置4は、ビデオゲーム用ソフトウェアの販売を行うゲーム会社のインターネットサーバであり、インターネット20上でビデオゲーム用ソフトウェアの販売等を行う装置となっている。

【0017】

コンテンツ提供装置4には、ゲーム会社のホームページが開設されている。このホームページには、ユーザーに対するアンケートや、新製品等の広告が設けられている。

また、このコンテンツ提供装置4には、多機能携帯型電話機のIDコード毎に、ホームページのアンケートに回答した、所定の広告を見た、および、ゲームの代金を支払った等のステータス、ならびに、現在進行しているゲームの途中経過を記憶する記憶手段が設けられている。

【0018】

NOC25は、加入電話通信網10を所有する移動電話会社が運営するプロバイダが開設したものである。このNOC25により、加入電話通信網10に属する携帯型電話機に接続された情報端末装置は、インターネット20との接続が可能となっている。

そして、このNOC25に設けられているDNSサーバが、多機能携帯型電話機から通知された電話番号を当該多機能携帯型電話機独自のIDコードに変換する機能を有する中継装置となっている。また、NOC25のDNSサーバは、加入電話通信網10の移動体用交換機12に接続され、これにより、加入電話通信網10を介して多機能携帯型電話機2と接続可能となっている。

なお、多機能携帯型電話機が、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの「iモード」対応の携帯型電話機の場合、NOC25を運営するプロバイダは、「mope r a」となる。

【0019】

ここで、加入電話通信網10は、NOC13を介してインターネット20と接続されている。このNOC13には、図には示されていないが、加入電話通信網10およびインターネット20の間で通信を行う際のインターフェイスであるゲートウェイが設けられている。このNOC13のゲートウェイは、加入電話通信網10の移動体用交換機12に接続されている。これにより、多機能携帯型電話機は、インターネット20に接続可能とされ、多機能携帯型電話機でインターネット20に設けられた各サイトの閲覧、および、インターネット20を利用したEメールの送受信等が可能となっている。

なお、多機能携帯型電話機が、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの「iモード」対応の携帯型電話機の場合、NOC13は、「iモードセンター」となる。

【0020】

以上において、多機能携帯型電話機2は、NOC13を経由してインターネット20に接続され、コンテンツ提供装置4からビデオゲーム用ソフトウェアの提供を受けて、操作者に当該ゲームを行わせることが可能となっている。この際、NOC13のゲートウェイからは、多機能携帯型電話機2独自のIDコードがコンテンツ提供装置4へ送信されるようになっている。

このIDコードにより、コンテンツ提供装置4は、前述のビデオゲーム用ソフトウェアを提供した多機能携帯型電話機2の特定が可能となり、途中で中断されたゲームの途中経過をセーブし、再度、ゲームが再開された際に、多機能携帯型電話機2へ途中経過を送信できるようになっている。

これにより、ビデオゲーム機としての多機能携帯型電話機2は、途中でゲームを中断しても、コンテンツ提供装置4にアクセスすることで、中断したところからゲームを再開できるようになっている。

【0021】

一方、多機能携帯型電話機2には、図2に示されるように、インターフェイスボックス51を介して、ディスプレイに表示された画像を見ながら操作されるビデオゲーム機5が情報端末装置として接続可能となっている。ビデオゲーム機5のディスプレイは、図には示されていないが、多機能携帯型電話機2のものよりも

高解像度の大型のものとされている。

多機能携帯型電話機2に接続されたビデオゲーム機5は、NOC25を経由してインターネット20に接続され、コンテンツ提供装置4からビデオゲーム用ソフトウェアの提供を受けて、操作者に当該ゲームを行わせることができるようにになっている。

【0022】

この際、NOC25のDNSサーバは、多機能携帯型電話機2の電話番号を多機能携帯型電話機2独自のIDコードに変換し、当該IDコードをコンテンツ提供装置4へ送信するようになっている。

この際、DNSサーバから送出されるIDコードと、ゲートウェイから送出されるIDコードとは、同一である必要はない。DNSサーバからのIDコードと、ゲートウェイからのIDコードが相違する場合は、DNSサーバからのIDコードを、ゲートウェイからのIDコードに読み替える変換テーブルをコンテンツ提供装置4に設ければよい。このようにすれば、コンテンツ提供装置4は、多機能携帯型電話機2を特定できる。

IDコードにより、コンテンツ提供装置4は、ビデオゲーム機5にビデオゲーム用ソフトウェアを提供しても、ビデオゲーム機5が接続された多機能携帯型電話機2の特定が可能となり、ビデオゲーム機5あるいは多機能携帯型電話機2で行われていたゲームが途中で中断されても、このゲームの途中経過をセーブし、再度、ゲームが再開された際に、多機能携帯型電話機2へ途中経過を送信できるようになっている。

これにより、ビデオゲーム機5あるいは多機能携帯型電話機2は、途中でゲームを中断しても、コンテンツ提供装置4にアクセスすることで、中断したところからゲームを再開できるようになっている。

【0023】

次に、本実施形態の動作について説明する。

まず、自宅でビデオゲーム機5が操作され、ビデオゲーム機5によりコンテンツ提供装置4がアクセスされると、コンテンツ提供装置4からビデオゲーム機5に、仮想の生物等、ペットとなるキャラクタを飼育するゲームが提供される。

この際、コンテンツ提供装置4で多機能携帯型電話機2を特定できるので、コンテンツ提供装置4からゲームの提供を受けたことに対する代金は、加入電話通信網10を所有する移動電話会社に依頼して、電話代と同時に徴収することができる他、多機能携帯型電話機2のネットバンキングによる銀行振込みで支払うことが可能である。

また、請求金額が高額の場合には、多機能携帯型電話機2を特定するIDコードのみで認証するだけでなく、ユーザーIDやパスワードを併用することが好ましい。

【002-4】

そして、ビデオゲーム機5で行っているゲームを途中で中断して外出しても、その途中経過は、コンテンツ提供装置4に記録される。そして、多機能携帯型電話機2でコンテンツ提供装置4をアクセスすれば、多機能携帯型電話機2により、中断したところからゲームを再開できる。

逆に、多機能携帯型電話機2で行っているゲームを途中で中断しても、その途中経過は、コンテンツ提供装置4に記録されるので、多機能携帯型電話機2を介したビデオゲーム機5でコンテンツ提供装置4をアクセスすれば、ビデオゲーム機5により、中断したところからゲームを再開できる。

【002-5】

この後、ビデオゲーム機5あるいは多機能携帯型電話機2によりゲームを進行させ、所定の段階に到達した際に、コンテンツ提供装置4をアクセスすると、進行状況に応じた褒美としての映像がディスプレイに表示される。

一方、ビデオゲーム機5あるいは多機能携帯型電話機2で、コンテンツ提供装置4のホームページに設けられているアンケートに回答したり、その広告を見たりする、または、多機能携帯型電話機2でゲームの代金を支払うと、コンテンツ提供装置4に記憶されているステータスが「未」から「済」へ変更される。

【002-6】

この後、ビデオゲーム機5でコンテンツ提供装置4をアクセスし、ステータスが「済」となっていることを確認すると、コンテンツ提供装置4からビデオゲーム機5へ所定のキーコードがダウンロードされる。

これにより、CD-ROM等の記憶媒体に記録され、基本的にスタンドアロンとなったビデオゲーム機5で行われるゲームであっても、隠しコンテンツを見るためのキーコードで開放される隠しコンテンツを記憶媒体に封印しておけば、ビデオゲーム機5でインターネット20に接続することにより、隠しコンテンツが与えられるので、スタンドアロンのみでは、達成し得ない楽しみがユーザーに与えられるようになる。

なお、キーコードは、ビデオゲーム機5の電源を切れば消滅してしまうように、揮発メモリに記憶させるのが好ましいが、不揮発メモリやディスク装置に暗号化して記録し、インターネット20と接続し、ステータスが「済」となっているときのみ解読できるようにしてもよい。

【0027】

前述のような本実施形態によれば、次のように効果が得られる。

すなわち、インターネット20に接続されたコンテンツ提供装置4に対し、多機能携帯型電話機2に接続されたビデオゲーム機5でアクセスする場合でも、コンテンツ提供装置4は、NOC25のDNSサーバが変換したIDコードにより、ビデオゲーム機5に接続された多機能携帯型電話機2を特定することができるので、アクセスの際に、ID番号やパスワードを入力する必要がなくなり、ビデオゲーム機5でも、多機能携帯型電話機2単体でアクセスする場合と同様の操作で、コンテンツの提供を受けることができるうえ、多機能携帯型電話機2の電話番号等がコンテンツ提供装置4に送信されることはなく、多機能携帯型電話機2の所有者のプライバシーを保護することができ、インターネット20上のセキュリティを確保できる。

【0028】

また、多機能携帯型電話機2に、当該多機能携帯型電話機2よりも大型のディスプレイでビデオゲームを行うビデオゲーム機5を接続したので、ゲームを行うプレイヤーは、高解像度で大きな画面により迫力のある画像を見ながらゲームを行えるようになり、プレイヤーに大きな満足感を与えることができる。

【0029】

さらに、加入電話通信網10を所有する移動電話会社が運営するプロバイダが所

有するDNSサーバで、多機能携帯型電話機2の電話番号をIDコードに変換するようにし、有料コンテンツであるゲームソフトの提供を行った際の代金の請求を、当該移動電話会社でも行えるようになるので、多数のコンテンツ提供装置から有料コンテンツの提供の受けても、ユーザーの支払先が一箇所にまとまり、ユーザーが代金を支払う際の煩雑さを軽減することができる。

これにより、インターネット20を通じて、音楽コンテンツやゲームソフトウェア等の有料コンテンツを配信する複数のコンテンツ配信業者から一般ユーザーが有料コンテンツを購入する取引をスムーズに行うことができる。

【0030】

また、コンテンツ提供装置4を、ビデオゲーム用のプログラムやデータを含む有料コンテンツを提供するインターネットサーバとしたので、自宅においては、多機能携帯型電話機2に接続したビデオゲーム機5でゲームを楽しめるうえ、ゲームを中断して外出しても、コンテンツ提供装置4には、それまでのゲームの経過がセーブされるので、ビデオゲーム機5が接続された多機能携帯型電話機2、単独で使用される多機能携帯型電話機2との同一性が確認できるので、外出しても多機能携帯型電話機2でゲームの続きを、適宜な場所で行うことができる。

【0031】

さらに、多機能携帯型電話機2にビデオゲーム機5を接続するようにしたので、一般ユーザーは、販売店まで足を運ばなくとも、最新ゲームをダウンロードして行うことができるうえ、当該ゲームを多機能携帯型電話機2でも行うことができ、しかも、ビデオゲーム機5には、ブラウザ機能が確保されるようになるので、インターネット20を閲覧するにあたり、ビデオゲーム機5および多機能携帯型電話機2があればよく、パーソナルコンピュータ等の操作が分かり難い情報端末装置が不要となり、インターネット20の利用をさらに容易にできる。

【0032】

以上、本発明について好適な実施形態を挙げて説明したが、本発明は、この実施形態に限られるものでなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲において種々の改良並びに設計の変更が可能である。

例えば、多機能携帯型電話機に接続される情報端末装置としては、ビデオゲー

ム機に限らず、デジタル信号からなる音楽コンテンツを再生するMP3プレーヤー、あるいは、図3に示されるように、多機能携帯型電話機2よりも大型のディスプレイを備えたパーソナルコンピュータ6でもよい。このようにすれば、パーソナルコンピュータ6の大型ディスプレイでインターネットの各サイトを詳細に見ることができる。

【0033】

また、多機能携帯型電話機の電話番号をIDコードに変換する中継装置としては、プロバイダが有するDNSサーバに限らず、図3の如く、NOC13のゲートウェイでもよい。このように、NOC13のゲートウェイを中継装置とすれば、コンテンツ提供装置4をアクセスする装置が、多機能携帯型電話機2である場合と、多機能携帯型電話機2に接続された情報端末装置、あるいは、多機能携帯型電話機2のいずれであっても、コンテンツ提供装置4には、同じIDコードが送信されるようになるので、IDコードを読み替える変換テーブルをコンテンツ提供装置4に設ける必要がなくなり、コンテンツ提供装置4の負荷を軽減することができる。

【0034】

さらに、多機能携帯型電話機の電話番号をIDコードに変換するDNSサーバが設置されるNOCとしては、加入電話通信網10を所有する移動電話会社が運営するプロバイダが所有するNOCに限らず、図4の如く、移動電話会社とは完全に別系列となった会社組織が運営するプロバイダのNOC21でもよい。

この場合、多機能携帯型電話機2に接続されたコンピュータ6は、多機能携帯型電話機2が属する加入電話通信網10と、通常の有線電話の通信をサービスする一般加入電話通信網30とを経由して、NOC21のアクセスポイントに接続されるが、加入電話通信網10および一般加入電話通信網30の両方を経由しても、NOC21には、多機能携帯型電話機2の電話番号が通知されるので、多機能携帯型電話機2独自のIDコードに変換することができる。

これにより、NOC21を所有するプロバイダは、多機能携帯型電話機2を特定できるので、コンテンツ提供装置4から提供された有料コンテンツの代金の請求を、ゲーム会社に代わって行うことができ、プロバイダによるインターネットの

接続料金と合わせて有料コンテンツの代金を請求するようすれば、ユーザーは、支払先が一箇所にまとまるので、多数のコンテンツ提供装置からコンテンツの提供を受けても、ユーザーが代金を支払う際の煩雑さが軽減される。

【0035】

【発明の効果】

前述のように、本発明によれば、多機能携帯型電話機に接続された情報端末装置でも、多機能携帯型電話機単体と同様の操作で、コンテンツの提供を受けることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明に係る実施形態の全体を示す系統図である。

【図2】

前記実施形態の全体の異なる状態を示す系統図である。

【図3】

本発明の変形例を示す系統図である。

【図4】

本発明の異なる変形例を示す系統図である。

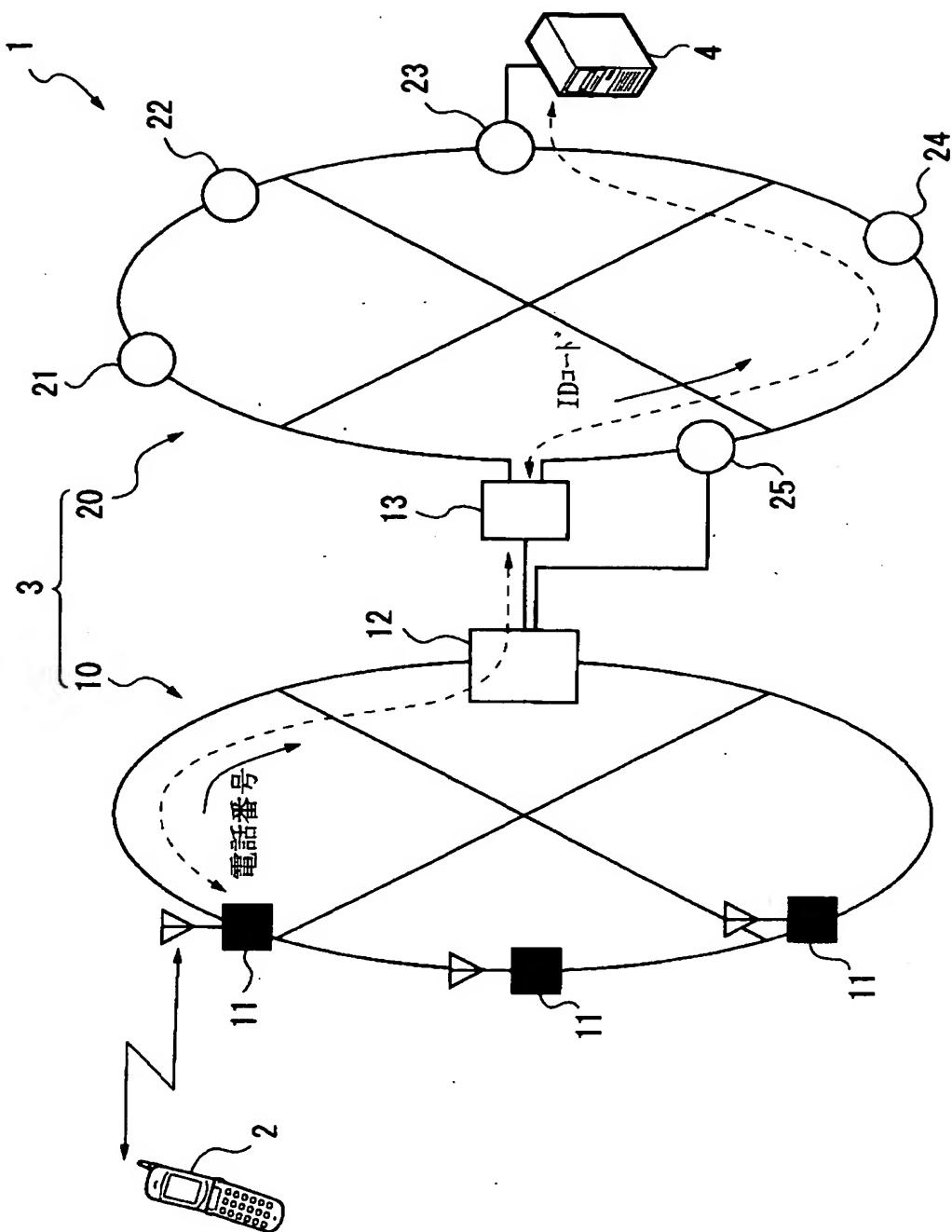
【符号の説明】

- 1 コンテンツ提供システム
- 2 多機能携帯型電話機
- 3 通信手段
- 5 情報端末装置としてのビデオゲーム機
- 6 情報端末装置としてのパーソナルコンピュータ
- 10 加入電話通信網
- 13 中継装置であるゲートウェイが設けられたNOC
- 20 インターネット
- 21, 25 中継装置であるDNSサーバが設けられたNOC

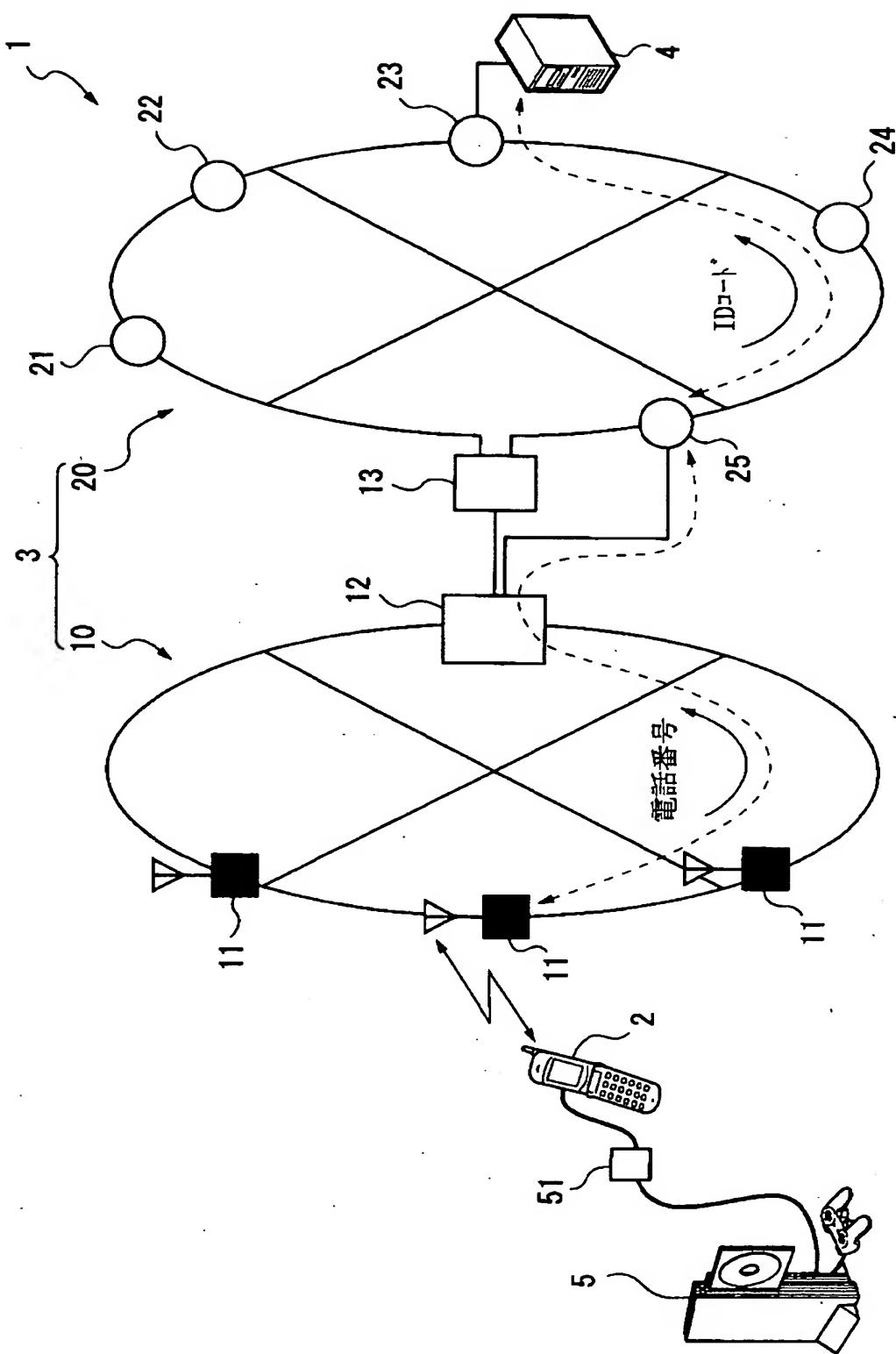
【書類名】

図面

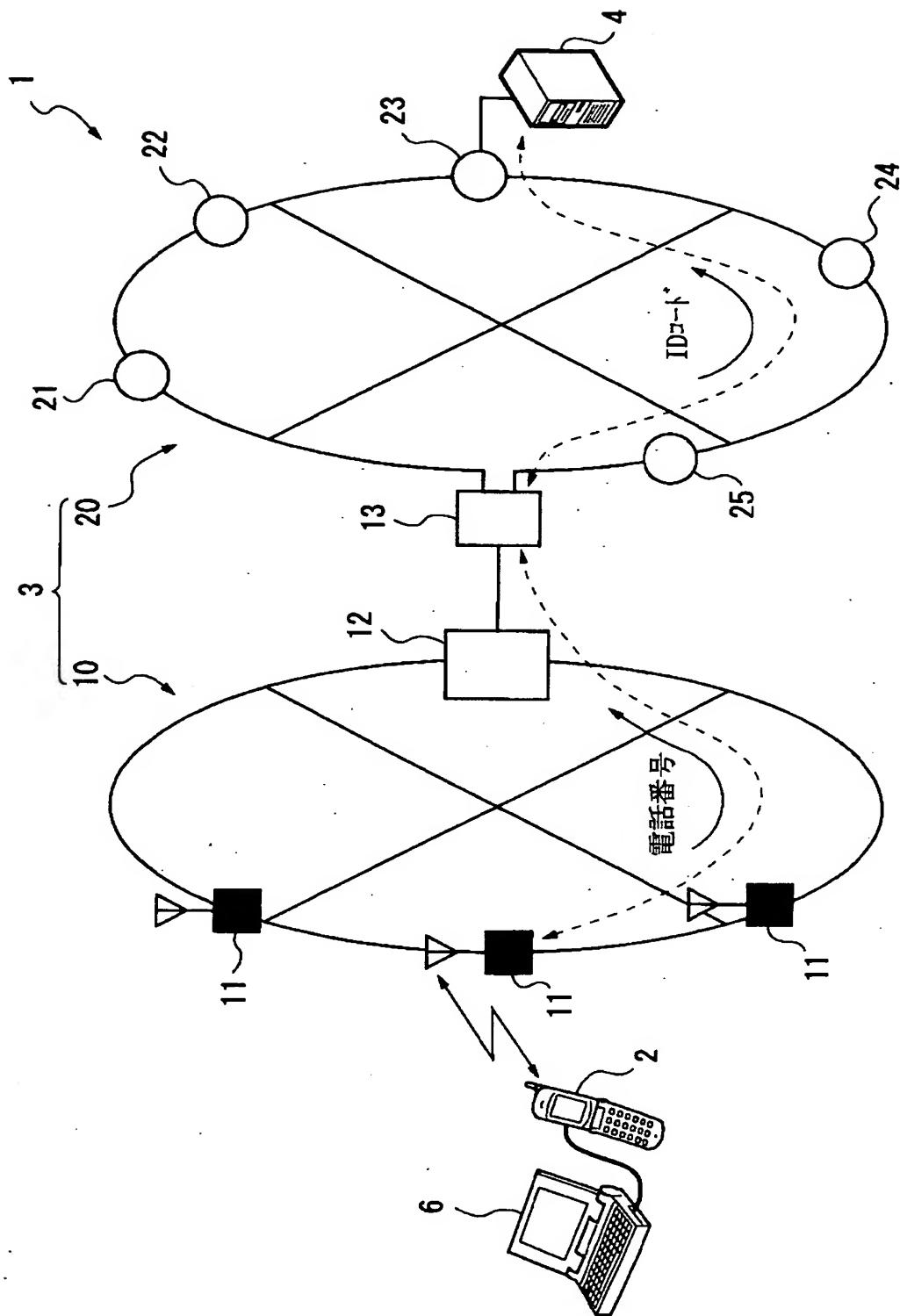
【図1】



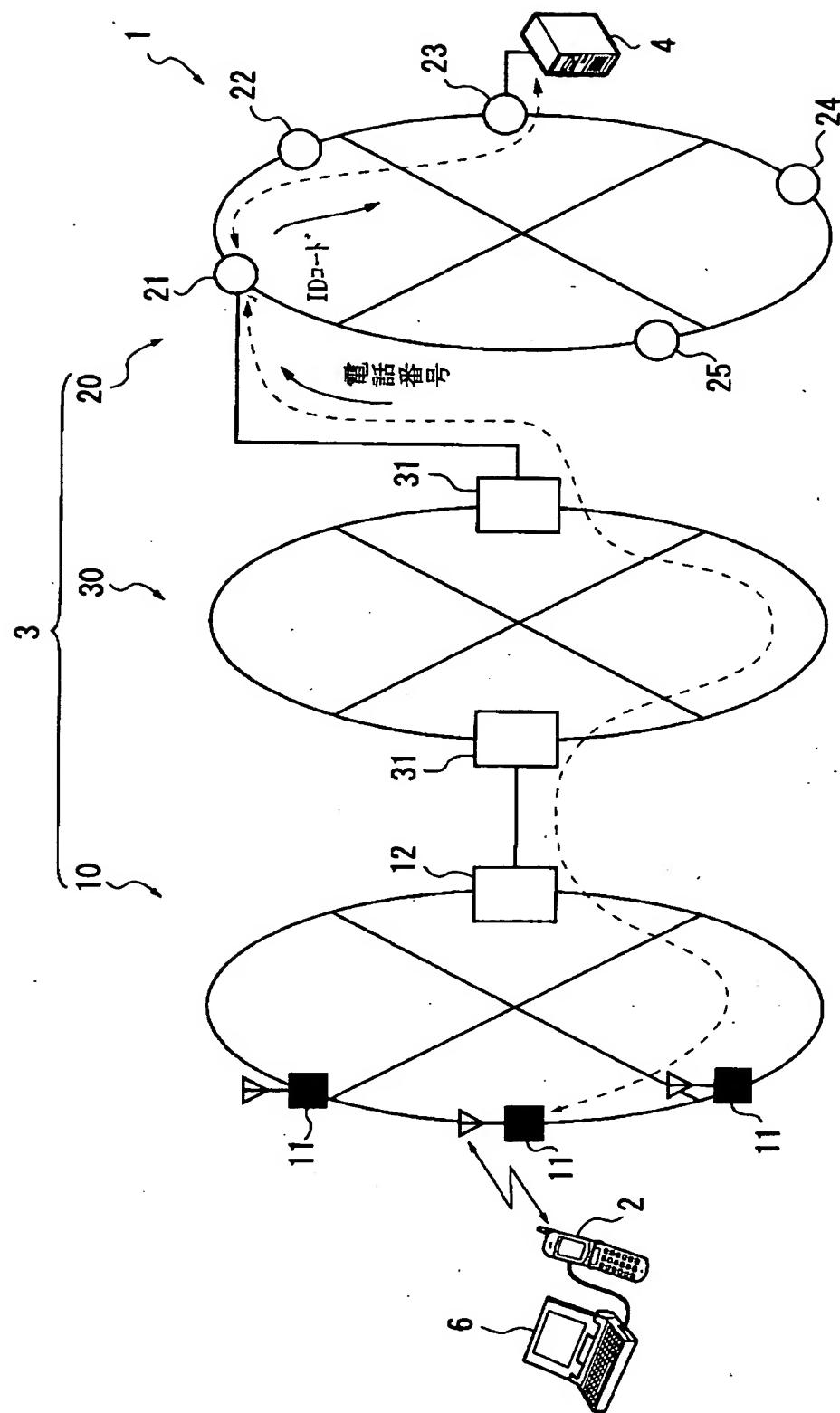
【図2】



【図3】



【図4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 多機能携帯型電話機に接続された情報端末装置でも、多機能携帯型電話機単体と同様の操作で、コンテンツの提供を受けることが可能となるコンテンツ提供システムおよびその中継装置の提供。

【解決手段】 多機能携帯型電話機2に接続されたビデオゲーム機5でコンテンツ提供装置4にアクセスする場合、NOC25に設けられたDNSサーバで電話番号を多機能携帯型電話機2独自のIDコードに変換する。これにより、ビデオゲーム機5でコンテンツ提供装置4にアクセスしても、コンテンツ提供装置4は、使用された多機能携帯型電話機2を特定できるようになり、ビデオゲーム機5でも、多機能携帯型電話機2単体と同様の操作でコンテンツが提供される。

【選択図】 図2

出願人履歴情報

識別番号 [395015319]

1. 変更年月日 1997年 3月31日

[変更理由] 住所変更

住 所 東京都港区赤坂7-1-1

氏 名 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント